



イメージキャラクター
ふくにゃん

ふれあいネットワーク
曾於市社会福祉協議会情報紙

第101号

令和8年10月15日



手と手

やさしさ
100パーセント



今号の表紙作品「おもしろい」

第22回 曾於市社会福祉大会 福祉ポスター〔小学生低学年の部〕最優秀賞作品

がっきゅうのみんなとなかよくしていきたいです



曾於市立財部南小学校 2年 赤松 あんな 杏南 さんの作品

理念 人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 曾於市財部町南俣 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460 ・ 0480 FAX : 0986-72-0425

第22回曾於市 社会福祉大会

2026.08.22
末吉総合センター

みんなのちからで 地域のしあわせを

令和8年8月22日（土）末吉総合センターで、第22回曾於市社会福祉大会を開催しました。

500人を超える参加者が集まり、曾於市の福祉のまちづくりの推進を目的に、多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえるとともに、地域住民や福祉関係者一人ひとりが「みんなのちからで 地域のしあわせを」について共に意見を交わす貴重な機会となりました。

大会を開催するにあたり、バザー、ブース、ボランティア等、大会運営のご支援に対しまして深く感謝申し上げます。

曾於市社会福祉協議会は、今後も曾於市に住む一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活ができるまちの実現に向けて取り組んでまいります。



開催趣旨朗読



社協会長挨拶



曾於市長挨拶



曾於市社協会長表彰



曾於市長寿クラブ会長表彰



来賓祝辞





福祉作文 ポスター表彰



最優秀福祉作文発表



福祉大会運営ボランティア



＼たくさんのご来場ありがとうございました／



医療・福祉団体・施設等によるバザー・ブース



曾於市社会福祉協議会会長・曾於市長寿クラブ連合会会長表彰

永年にわたり地域福祉活動に功績のあった方々への社会福祉協議会会長表彰、福祉団体長表彰が行われました。受賞者を代表して、豎山 政美 様が謝辞を述べられました。被表彰者の方々をご紹介します。(敬称略)

1 社会福祉法人曾於市社会福祉協議会会長表彰

○表彰の部

民生委員・児童委員 8名

民生委員・児童委員として、長年その職務に従事し、功績があった方

宮田 良一 貴嶋 美代子 戸越 順子 内村 みづえ 豎山 政美 小田 マチ子
八木 順子 岡留 清文

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等 4名

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等として、長年在職され、功績があった方

中山 大介 福元 里美 神野 由唯奈 後久 真也

社会福祉団体等の役職員 5名

社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方

久木田 文雄 金澤 貞則 川崎 郁子 森山 真美 鎌田 智洋

在宅福祉アドバイザー 7名

在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方

安樂 りつ子 井上 郁子 中留 正文 嶽 清子 福村 晴美 田代 久美子
岩倉 とも子

2 福祉団体長表彰

曾於市長寿クラブ連合会会長表彰 4名

長年にわたり、役員として貢献された方

山下 美智子 稲元 キミ子 中村 不二男 湯之上 律子

令和8年熊本地震義援金について

令和8年、熊本県での地震により、甚大な被害が発生いたしました。

この災害による被災地の方々の生活を支援するため、日本赤十字社では下記のとおり「令和8年熊本地震災害義援金」を受け付けています。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

◆義援金箱の設置場所

- ・曾於市社協本所 | 財部保健福祉センター
- ・曾於市社協末吉支所 | そお生いき健康センター
- ・曾於市社協大隅支所 | 大隅弥五郎伝説の里



福祉大会でも多くの皆様に
義援金のご協力をいただきました。

第22回 曾於市社会福祉大会

福祉作文・福祉ポスター受賞者一覧

市内の学校へ「おもいやり」をテーマに作品を募集したところ、福祉作文 9 点、福祉ポスター 175 点と、大変多くのご応募をいただきました。誠にありがとうございました。厳正な審査会を行い、受賞者が以下のとおり決定いたしました。

福祉作文最優秀賞 1名

学校名	学年	氏名	作品名
檉小学校	4年	徳留 帆夏	わたしに出来ることは

福祉作文優秀賞 3名

学校名	学年	氏名	作品名
光神小学校	4年	中崎 唯	言葉のキャッチボール
笠木小学校	5年	川原 可楠	優しい人たち
笠木小学校	6年	徳留 朋輝	自分の気持ちをわかってくれたんだ

福祉作文入選 2名

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
光神小学校	3年	有満 雫	財部南小学校	4年	三島 琴音

福祉ポスター最優秀賞【小学校低学年の部、高学年の部】 2名

学校名	学年	氏名	作品名
財部南小学校	2年	赤松 杏南	おもいやり
月野小学校	4年	松崎 碧夢	広がる思いやりの合唱

福祉ポスター優秀賞 7名

学校名	学年	氏名	作品名
菅牟田小学校	3年	池之上 紗希	みんななかよし
菅牟田小学校	3年	内田 琉空叶	心があたたまるとの一言
菅牟田小学校	3年	原田 あかり	まほうのことば
笠木小学校	3年	酒匂 萌生	おもいやり。
柳迫小学校	5年	三枝 初希	思いやり
深川小学校	5年	新盛 大晟	みんななかよし
諏訪小学校	6年	森山 悠	思いやりの心をわすれないで

福祉ポスター奨励賞 12名

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
柳迫小学校	2年	瀬崎 友姫乃	深川小学校	2年	末鶴 柚稀	檉小学校	3年	三枝 ひなの
月野小学校	3年	福留 凜桜	深川小学校	3年	新盛 喜歩	中谷小学校	3年	落合 逞斗
財部南小学校	3年	筵平 香	光神小学校	5年	樋口 瑞姫	光神小学校	5年	白坂 瑠芽
大隅北小学校	6年	田中 琉奈	深川小学校	6年	富永 勇海	諏訪小学校	6年	末廣 あかり

福祉ポスター入選作品 18名

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
大隅北小学校	1年	福留 麻優	中谷小学校	1年	鈴木 凜	財部南小学校	1年	西丸 莉央
光神小学校	2年	櫻木 ゆら	財部南小学校	2年	起 夏樹	諏訪小学校	2年	松ヶ野 心愛
檉小学校	3年	井之上 暖	菅牟田小学校	3年	山下 陽斗	財部南小学校	3年	平田 実和
大隅北小学校	4年	田中 緑葉	中谷小学校	5年	福岡 新太	中谷小学校	5年	川野 陽愛
恒吉小学校	5年	新留 大也	大隅北小学校	6年	多持 一翔	深川小学校	6年	鶴巣 楓果
諏訪小学校	6年	逆瀬川 美空	諏訪小学校	6年	長谷川 ひなた	恒吉小学校	6年	新留 愛理

令和8年度 福祉ポスター受賞者紹介

今年度も、たくさんの作文、ポスターの応募をいただきありがとうございました。
最優秀賞・優秀賞を受賞された作品と児童のみなさんを紹介します。



財部南小学校 2年 赤松 杏南 さん
最優秀賞作品「おもいやり」



月野小学校 4年
松崎 碧夢 さん
最優秀賞作品
「広がる思いやりの合唱」



菅牟田小学校 3年
内田 琉空叶 さん
優秀賞作品
「心があたたまるその一言」



菅牟田小学校 3年
池之上 紗希 さん
優秀賞作品「みんななかよし」



菅牟田小学校 3年 原田 あかり さん
優秀賞作品「まほうのことば」



笠木小学校 3年 酒匂 萌生 さん
優秀賞作品「おもいやり。」



柳迫小学校 5年 三枝 初希 さん
優秀賞作品「思いやり」



深川小学校 5年 新盛 大晟 さん
優秀賞作品「みんななかよし」



諏訪小学校 6年 森山 悠 さん
優秀賞作品「思いやりの心をわすれないで」

最優秀賞福祉作文【小学生の部】

曾於市立憶小学校 四年

徳留 帆夏さん
とくどめ ほのか



「わたしに出来ることは」

わたしには、病気でまだ歩くことができない妹がいます。

足にはそう具を付けていて、歩行器を使って歩きます。そんな妹が、四月にわたしと同じ憶小学校に入学しました。入学する前は、「みんなと同じように学校生活を送ることが出来るのかな」「友達ができるのかな」と、とても心配していました。それに、わたし一人で妹の面どうをみないといけなくなると思っていました。そんなわたしの思いとは反対に妹は、「早く学校に行きたい。」

と、入学式をとてもしみにしていました。

とうとう、入学式の日になりました。妹は歩行器を使いながら、どうどうと花道を歩いてきました。その顔はとてもうれしそうで、わたしまでうれしくなってきました。妹は、学校が大好きです。家に帰ってから、

「みんなで昼休みに遊んで楽しかった。」

「早く学校に行きたい。」

と、いつも言っています。そんな妹の姿を見て、安心していきます。入学前にたくさん心配していたけれど、する必要はありませんでした。なぜかという、妹のことを手伝ってくれたり、やさしくせしてくれたりする友達がたくさんいたからです。

ある日の朝の出来事です。妹が登校してきてシューズには

きかえようとしていた時、六年生がやさしく声をかけながら手伝っていました。また別の日には、歩行器を使ってゆっくり歩く妹のスピードに合わせて、となりでゆっくり歩いてくれる友達もいました。こまっている時に、しげんに手伝いができる友達のように、わたしもいろんな人を助けられる人になりたいです。

学校は、やさしくて思いやりのある友達がたくさんいます。が、社会の中ではどうでしょう。わたしは家族といっしょに買い物に行った時に、いつも感じるがあります。それは、「ゆう先スペース」や「ゆう先レジ」が少ないということです。わたしたちのまわりには、体が不自由な人や、高い者の方がくらししています。車いすの人もあります。その人達が買い物をする時に、レジで会計をする時、こんでしまうことがあります。こんでくるとお金をはらう時にあわててしまうかもしれません。だから「ゆう先レジ」があれば、スムーズになるのではないかと考えています。そうすれば、後ろの人を気にせずにつくりお金をはらうことができると思います。バスや電車のぎざ席、トイレなどは、「ゆう先スペース」がふえてきていると思います。でもまだ少ないと思います。公園のだんななど楽しく遊べるようになると思います。みんなが過ごしやすく、生活しやすいようになったらいいなと思います。そのため、わたしに出来ることはないか、これからも考えていきたいです。

第22回 曾於市社会福祉大会

福祉作文 2026

令和8年度福祉作文の優秀賞作品はホームページに掲載しております。
心温まる子どもたちの作文をQRコードからご覧ください。



シンポジウム

身近な地域のつながりから広がる支え合い

曾於市の支え合いを広げる取り組み



シンポジウムは、コメンテーターに鹿児島県社会福祉協議会事務局次長兼地域福祉部長の古市智子氏を迎え、そして、長年、在宅福祉アドバイザーとして活動が続けられている池田京子氏、居場所づくりとして体操教室で活動されているひまわり体操教室代表の鍋山美智子氏、認知症の方とご家族の立場から五位塚高盛氏に発表いただきました。

はじめに、古市氏より基調説明をいただき、支え合いの主役は、一番身近にいる住民同士であり、自然なつながりを生み出す、声かけなどの何気ない会話や居場所があることの大切さ、支え合いは住民の自然なつながりから生まれること等をお話いただきました。

その後は、3名の活動者から発表いただき、「個のつながりから地域のつながりへ広がり、支え合いへとつながっていくこと」、「居場所があることで顔の見えるつながりができ、日常の支え合いへつながっていくこと」、「当事者や家族にとって日頃から地域とのつながりがあることや同じ立場の人同士で共感し合える居場所があること」、相互に知り合い、認め合うことの大切さについて発信していただきました。

シンポジウムを通して、つながりがあるからこそ支え合いが生まれること、テーマである「身近な地域のつながりから広がる支え合い」を届けることができました。このような地域をたくさん生み出すことで、曾於市に支え合いを広げていくことを目指していきます。



SUMMER ボランティア 体験活動 2026

夏 休み期間中の7月26日から8月23日にかけて、中高生を対象とした「サマーボランティア体験活動」を実施しました。

活動に先立ち、7月26日にはオリエンテーションを行い、ボランティア体験活動の内容や福祉について学びました。また、「認知症サポーター養成講座」では、認知症についての正しい知識や、地域で暮らす方への関わり方について学び、活動に向けた準備をしました。

体験活動では、参加した中高生がそれぞれの活動先でボランティアを体験し、福祉の現場や地域の方々との関わりを通して、普段の生活では得られないさまざまな気づきや学びを得ました。

8月23日には「ふりかえりの会」を開催しました。参加者同士で活動を振り返り、「気づいたこと」「感じたこと」などを共有しました。自分の体験を言葉にするだけでなく、他の参加者の話を聞くことで、新たな発見や学びにつながる時間となりました。

①オリエンテーション



②施設での活動



③ふりかえりの会



＼活動に参加した生徒の声／

- ・福祉の仕事についてもっと知りたいと思えるようになりました。
- ・地域の高齢者の方と話す機会がこれまでなかったけれど、今回の活動をきっかけに、これからは積極的に交流していきたいと思いました。
- ・人に優しく、相手の気持ちを考えて行動できる介護士を目指したいと感じました。
- ・利用者さんや職員さんとのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築ける介護福祉士になりたいと思いました。
- ・今後もボランティア活動に積極的に参加していきたいです。
- ・福祉の仕事に就きたいので、これからもボランティアに参加していきたいし、コミュニケーション能力を伸ばし、相手のペースに合わせられるようにになりたいです。
- ・普段関わることのない高齢者の方と接することで、自分自身の成長につながる気づきがありました。
- ・活動を通して学んだ洞察力を、将来の仕事はもちろん、大学生活や日常でも活かしていきたいです。
- ・食事の内容や認知症の症状が一人ひとり違うことを知り、介護の現場の奥深さを感じました。



みんなが主役! ふれあいフェスタ

2026.09.12

そお生きいき健康センター

みんなが主役! ふれあいフェスタは、市内で障がい者支援に携わる事業所や関係機関の皆さんと本会が協同して“みんなが主役”をテーマに企画・運営したものです。

当日のステージでは、各事業所・団体の方によるダンスやオカリナ、アコースティックギター、三線による演奏や紙芝居、エイサー太鼓やカラオケなどが披露され、出演者と来場者が一緒になって手拍子をしたり、歌ったりする場面もあり、楽しいひとときを過ごしました。



また、各事業所によるブース会場では、総菜や工芸品、農作物などの販売をはじめ、フードドライブや体験コーナー（輪投げ、反射神経ゲーム、折り紙、魚釣りゲームなど）、展示コーナーも設けられ、全体で約 150 名の来場者がありました。



去年から開催している、障がい福祉に関する悩みや相談を専門職に気軽に相談できる「ゆずのきカフェ」も多くの方にご利用いただきました。

今回のフェスタを通して、地域の方や事業所がつながり、互いを知るきっかけとなりました。これからも「みんなが主役」となり、誰もが気軽に参加でき、笑顔で交流できる地域づくりを目指していきます。

ち い き の う ご き

中部校区で多世代交流イベントを開催しました！

中部校区社会福祉協議会の取り組みを紹介 令和8年8月23日



中部校区社会福祉協議会主催の「地域交流レクリエーション大会」が開催されました。このイベントは、中部校区の子どもから高齢者まで、誰もが気軽に参加し、楽しみながら世代を超えて交流できる場をつくろうと、中部校区社会福祉協議会の役員を中心に企画されました。

当日は輪投げ、ミニボウリング、ポッチャなど6種目の競技と、スタンプラリーで4種目のスタンプを集めると、お菓子を使ったミニブーケづくりに参加できる企画もあり、会場は終始、笑顔と歓声に包まれました。運営には校区社協の役員だけでなく、地域の方々にもボランティアスタッフとしてご協力いただき、地域みんなでイベントを盛り上げました。当日はスタッフ含め100名を超える方々が来場し、イベントを通じて、世代を越えて一緒に参加することの大切さ、そして地域の方々の力が一つになることのすばらしさを改めて感じる機会となりました。

-----曾於市地域包括支援センター-----

民生委員と介護支援専門員の合同研修会を開催

令和8年9月18日

曾於市における高齢化率は45%に迫り、独居世帯、高齢者夫婦、高齢者親子世帯が増加しています。また、過疎化や人口減少による見守り体制の希薄化や孤立、身寄りのない方や認知症の増加など高齢者を取り巻く課題は年々複雑化している状況にあります。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目的に、地域の見守りの要である民生委員と要介護・要支援高齢者の介護サービスの調整役である介護支援専門員の合同研修会を開催いたしました。

鹿児島県介護支援専門員協議会の阿久根平氏を講師に迎え、「民生委員と介護支援専門員の連携について」をテーマにお話いただきました。なぜ今、制度（介護保険）だけでなく「地域」が必要なのかを考え、事例検討を通じてお互いの立場や役割、負担を理解し、日頃から無理なく連絡しあえる顔の見える関係づくりを目標に研修を行いました。

参加者からは「ケアマネジャーの役割や大変さが分かった。」「民生委員へ連絡するのにハードルが下がった気がする。」といった声が寄せられましたが、一方で「お互いの連絡先が分かりにくい」など連携の取り方について課題があることも分かりました。地域包括支援センターは、これからもパイプ役として、更に連携を深めていくように取り組みを進めて参ります。



曾於市地域包括支援センター ☎ 0986-76-8824 (24時間対応)

曾於市末吉町二之方 2342 番地 2 (そお生きいき健康センター内)

身寄りのない人への支援に関するガイドライン策定記念シンポジウムを 令和8年7月15日に末吉総合センターにて開催しました

「身寄りのない人への支援に関するガイドライン」は、身寄りがないことで生じる様々な困りごとに備える為に、どのような場面で支援が必要になるか、誰がどのように関わるかをあらかじめ整理し、その方を支えるチームで共有や支援をする為の指針となるものです。

シンポジウムでは、特定非営利活動法人やどかりプラス芝田淳氏をお招きし、「身寄り問題における現状、課題、今後の向き合い方～ガイドライン策定の意義～」と題し基調講演をいただきました。続くパネルディスカッションでは、「ガイドラインの活用を通じて私達にできることを考える」をテーマに、芝田氏をコーディネーターとして、本会権利擁護センター主任坂口翔吾と昭南病院地域医療連携室 大坪幸恵氏、おおすみ竹山園 管理者・生活相談員内直樹氏の3名が登壇し、これまで関わった事例を通じて連携のあり方や今後のガイドラインを活用した支援などについて意見交換が行われました。

市内外から福祉や医療関係者、民生委員・児童委員や校区社協関係者等約130名の方々にご参加をいただき、身寄り問題について改めて考える機会となりました。

曾於市社会福祉協議会権利擁護センターでは、令和8年7月より「身寄りのない人への支援に関する相談窓口」を開設いたしました。このガイドラインを活用しながら身寄りがなくとも安心して暮らせるためのお手伝いをします。一人で悩まず、まずはお気軽にご相談ください。



あなたやご家族、知り合いの方の困りごと・心配事はありませんか？

権利擁護センターは、曾於市に住む高齢者や障がい者等で判断能力が低下した方が、安心して自分らしく暮らすためのお手伝いをします。

- | | |
|---|---|
| ☒ 契約や手続きに困っている | ☒ お金のやりくりや管理が不安 |
| ☒ 自分の今後が心配 | ☒ 地域で気になる人がいる |
| ☒ 制度のことを知りたい | ☒ 後見人同士で交流会がしたい |
| ☒ 後見人として選任されたが今後どうしたらいいのか不安 | |

一人で悩まず、まずはお気軽にご相談ください

曾於市共同募金委員会より

TEL : 0986-72-0460 FAX : 0986-72-0425

支える人を支える募金

じぶんの町を良くするしくみ

今年も 10 月 1 日から共同募金運動が始まりました！
地域福祉推進のため、皆さまの募金へのご協力をよろしくお願いします！

共同募金ってなに？

赤い羽根をシンボルに、「赤い羽根共同募金」
として、毎年 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日の期間、
全国で募金運動が行われています。

地域の子どもの居場所を支える人。誰もが参加できる
場づくりを支える人。日々の生活に困っている方を支
える人。いきいきと暮らし続けられる地域を支える人。
集まった募金は、そんな人たちの活動をはじめとした、
地域をより良くする取り組みに使われています。

何に使われているの？

キャッシュレスでご寄付いただけます

PayPay、クレジットカード、スマホキャリア決済
などで寄付ができます。寄付金は、寄付先として指
定された都道府県または市区町村の福祉活動に役立
てられます。

寄付はこちらから▶
(記名寄付)



寄付についての
詳細はこちら▶
(曾於市社協 HP)



赤い羽根共同募金は 80 回目の運動を迎えます

皆さまの善意に支えられ、赤い羽根共同募金運動は
大きな節目を迎えます。曾於市においても自治会や
民生委員児童委員、共同募金の助成を受けて活動し
ている団体など、多くの
皆さまに支えられながら
運動をおこなっております。

 **八十周年**
ありがとう。これからも一緒に。

実 習 生 よ り

8月10日から9月11日まで26日間曾於市社会福祉協議会で実習をさせていただきました。実習では沢山の方と出会い、様々な活動に参加させていただきました。地域の皆様との繋がりがや見え合いの大切さを実際に感じる事が出来た貴重な26日間でした。他にも福祉職として必要な技術や心構え等、学校では得られない多くの学びを得ることができました。温かく迎え、優しく指導して下さいました職員の皆様、地域の皆様本当にありがとうございました。社会福祉士を目指すうえで、今回の実習で学んだことをしっかり活かして勉強に励んでいきます。26日間、本当にありがとうございました。



鹿児島国際大学 3年 松元 智咲 さん



LINE スタンプショップ内
【曾於市 ふくにゃん】で検索

購入は
こちらから！



LINEスタンプ ことができました！

LINE スタンプの収益は、曾於市における地域福祉活動の財源として活用します。

無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：無料

※1回につき相談時間は30分以内

○申込方法：電話で事前に予約が必要です。(2日前まで)

○お問合せ先：

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

鹿児島市山下町12番17号2階

TEL：099-227-0041(受付：平日9時～17時)

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	1月21日 (13時から16時まで)
そお生きいき健康センター	11月19日 (13時から16時まで)
大隅弥五郎伝説の里	12月17日 (13時から16時まで)

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：無料

※1回につき相談時間は30分以内

○申込方法：電話で事前に予約が必要です。

○お問合せ先：

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー

藤尾法律事務所 末吉支所

曾於市末吉町本町1-4-5 TEL：0986-51-9830

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	11月10日、12月8日、 (13時から15時まで)
大隅弥五郎伝説の里	10月20日、11月17日 12月15日 (18時から20時まで)

たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、ご寄付を曾於市民の皆様の地域福祉向上のために大切にさせていただきまします。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。(R8.7.1～R8.9.30 受付分)

香典返し寄付金

財部地区

遠藤 智美様／川内
坂元 幸子様／町
白川 タツ子様／新田
西富 八重子様／大川原
東崎 オワイ様／鳥越
鬼丸 次雄様／坂元
中崎 久丸様／西村

末吉地区

窪田 八郎様／原口
竹下 ツル様／菅渡
今村 源美様／三枝後
山中 昇様／法楽寺
岩廣 みえ子様
徳地 順子様／仮屋
中村 浩一郎様／丸山上
東 なる子様／菅渡
匿名 3名

大隅地区

牧之瀬 良一様／西鍋
上野 マサ子様／蕨谷
森山 スミ子様／上長江
有馬 範明様／下岡別府
神田 由美子様／上馬場
別府 浩一郎様／別府
谷口 伸一郎様／紺垣
岩寄 タニエ様／岩川本町
吉利 民男様／西笠木
野崎 照雄様／記載なし
川原 ツギエ様／上諏訪

濱崎 ヨシ様／西中園
加塩 修一様／花白
上村 シヅカ様／二重堀

一般寄付金品

財部地区

鹿児島県電気工事業工業組合／車椅子
匿名

末吉地区

鮫島 勇一様／南法楽寺

大隅地区

曾於市長寿会大隅支部会岩川校区／
タオル

▼鹿児島県電気工事業工業組合より曾於地区電気工事業協同組合青年部を通じて、車椅子を寄贈していただきました。
ありがとうございました。



社協公式 SNS・ホームページはこちら

＼地域福祉の様々な情報をお届けしています／



ホームページ



Instagram



公式 LINE



ボランティア募集 LINE

NEW /
ボランティア
募集のお知らせ
などを発信!

曾於市社協情報紙へのご意見はこちらから



編集後記

ようやく秋ですね。今年は猛暑以上の酷暑という言葉が聞かれ、さらには熊本地震の発生や台風による大規模な風水害と、これまで以上の自然災害の脅威に直面しています。明日は我が身という危機感を強く抱くなか、日頃の備え（自助）はもちろんですが、普段からのご近所同士の声掛けや、顔の見える関係づくり（共助）が最大の防災・減災につながるのではないかと思います。これからも、社協職員として、地域の人たちの自助・共助がより進んでいくよう努めていきたいです。

O・M



この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。